

こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかい だい かいぜんたいかいぎ じようろく
小平市地域自立支援協議会 第3回全体会議事要録

れいわがんねん がつ にち げつ
令和元年12月16日(月)

けんこうふくしじむせんたー
健康福祉事務センター

だい だい かいぎしつ
第3・第4会議室

ごご じ じ
午後2時～4時

【日 時】 れいわがんねん がつ にち げつ ごご じ じ
令和元年12月16日(月) 午後2時～4時

【会 場】 けんこうふくしじむせんたー だい だい かいぎしつ
健康福祉事務センター 第3・第4会議室

【参 加 者】 さん か しゃ にん
14人

【欠 席 者】 けつ せき しゃ ひとり
1人

【傍 聴】 ぼう ちょう ふたり
2人

【配付資料】 はいふしりょう

- (1) こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかいだい かいぜんたいかいしだい
小平市地域自立支援協議会第3回全体会議次第
- (2) ひなんこうどうようしえんしゃめいぼ どうろく きゅうきゅういりょうじょうほう はいふ
「避難行動要支援者名簿」への登録と「救急医療情報キット」の配付
について (資料番号なし)
- (3) いしそつうしえんきき わたし ばあい
意思疎通支援機器～私の場合～ (資料番号なし)
- (4) れいわ ねんど だい き こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかいについて あん しりょう
令和2年度(第5期)小平市地域自立支援協議会日程(案) (資料1)
- (5) こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかい だい かいかんじかいかいさいほうこく しりょう
小平市地域自立支援協議会 第3回幹事会開催報告 (資料2)

(6) 小平市地域自立支援協議会 当事者・情報部会報告 (資料番号なし)

(7) 小平市白梅学園大学連携療育事業 (資料番号なし)

1 開会

会長より開会が宣言された。

2 配布資料の確認

事務局より配布資料の確認があった。

3 「避難行動要支援者登録名簿」への登録と「救急医療情報キット」の配布について

生活支援課計画調整担当より、資料に基づいて説明があった。

質疑応答

【M 委員】基準日が9月1日と記載されているが、引っ越しをした人の更新はどうしたら良いか。

【調整担当】住民票が異動してあれば、名簿から削除している。施設に入所中など、住民票が残っている場合でも、申し出があれば削除する。

【H 委員】郵送されているカテゴリ別の合計件数を教えてほしい。関係先として、相談支援事業所は何件明記されているか。

【調整担当】9月1日に発送する新規対象者は年間800～900件。事業所

の統計は取っていないが、基本的に書いていただいている印象。

【D 委員】夫婦でともに障がいがある場合、それぞれが提出した方が良いか。

【調整担当】それぞれ提出してほしい。名簿の管理上夫婦とわかる。

4 意思疎通支援機器 ～私の場合～

阿保弘平さん（自立生活センター・小平）より、資料に基づいて説明があった。

質疑応答

【H 委員】今後、どんなアプリやタブレットが開発されれば良いと考えているか。

【阿保氏】トーキングアプリになって、ミュート機能がないことが一番の悩み。

入力音が鳴ることが難点。

【J 委員】機器を試すうえで、リハビリの先生に相談した経緯はあったか。

【阿保氏】リハビリの先生は、福祉機器のトーキングエイドしか知らなかった。

【C 委員】小学校時代はどのように意思疎通を図っていたか。また、その頃の想いを聞かせてほしい。

【阿保氏】文字盤で指差しをしていた。スピードが噛み合わないことが難点だった。

【副会長】CILでは、トーキングエイドを使った意思疎通支援が普及しているのか。また、必要とする方が、どれ位持っているのか。

【阿保氏】^{じぶん}自分しか^{りよう}利用していないが、^{ふきゅう}普及は^{はじ}し始めていると^{おも}う。

【D 委員】^{わたし}私も^{げんごしょうがい}言語障害があり、^い言いたいことを^{ぼーせん}100%^{つた}伝えることが

^{むづか}難しい。^{たいちょう}体調が^{わる}悪いときは、^{しえん}支援の方や^{かた}家族に^{おも}想いを^{つた}伝えてい

^{あいて}るが、^{きげん}相手の^{うかが}機嫌を^う窺うこともある。^{あいて}相手の^{きげん}機嫌を^{うかが}窺うことは、

^{あいて}相手と^{じぶん}自分の^{かんけい}関係や^{しんらい}信頼に^{もと}基づいていくと^{かんが}考えているが、^どどのよ

^ううに^{かいけつ}解決しているか。

【阿保氏】^{たいちょう}体調が^よ良い時に^{しえん}支援の方と^{かた}話し^あ合う。^{わたし}私が^{なに}何を^{のぞ}望むか^{ていど}ある程度

^{よそう}予想して^ほしい。

【D 委員】^{その}そのような^{とき}時には、^{しゅだん}どのような^{かんが}手段を^{かんが}考えるか。

【阿保氏】^{はな}と^あとことん^り話し^{かいけつ}合う。2人^{とき}で^{にん}解決しない^{はな}時には、3人^あで^あ話し^あ合う。

【F 委員】^{はな}と^あとことん^{むづか}話し^あ合うことが^{ベース}ベースにあるが、^{むづか}それが^{むづか}難しい^{とき}ときに

^{だい}は^{しゃ}第3者^{かいにゆう}に^い介^し入^{そつう}してもらい、^{はか}意思^よ疎^{かんが}通^{かんが}を^{かんが}図^{かんが}れれば^{かんが}良いと^{かんが}考^{かんが}えて

^{しょう}いる。^{しょう}障^{とうじしゃ}がい^{じぶん}当事者^{もさく}は^{しせい}自分^{しせい}にあ^{しせい}った^{しせい}ツ^{しせい}ール^{しせい}を^{しせい}模^{しせい}索^{しせい}して^{しせい}いく^{しせい}姿^{しせい}勢^{しせい}

^{たいせつ}が^{じゅうなん}大切^{かたち}である。^{かいぎ}柔軟^{さんか}な^{さんか}形^{さんか}で^{さんか}会^{さんか}議^{さんか}に^{さんか}参^{さんか}加^{さんか}する^{さんか}ため^{さんか}には^{さんか}ど^{さんか}う^{さんか}し^{さんか}たら

^ひいい^{つづ}か、^{じむきよく}引^{ひと}き^{けんとう}続^{けんとう}き^{けんとう}事^{けんとう}務^{けんとう}局^{けんとう}の^{けんとう}人^{けんとう}に^{けんとう}検^{けんとう}討^{けんとう}して^{けんとう}もら^{けんとう}いた^{けんとう}い^{けんとう}たい。

5 ^{ちいきせいかつしえんきよてんなど}地域生活支援拠点等^{せいび}の整備^{じょうほうこうかん}について（情報交換）

^{いいん}L委員^{せつめい}より説明^{せつめい}があ^{せつめい}った。

12月17日に、東村山市で地域生活支援拠点の整備に関する説明会がある。情報収集を行うため参加する。説明会では、要綱も公表される予定。

6 災害時の支援・課題などについて（意見交換・情報交換を中心に）

～自然災害時における行政、各事業所、学校等における避難体制及び支援体制等の現状（取組等）と課題について（医療的ケアを含む）～

(1) 係長より、台風15号・19号の被害に関する説明があった。

・都内では、世田谷と府中で浸水被害があった。江東区では、荒川の氾濫

予想地域に人工呼吸器ユーザーが住んでいたため、避難対応を行った。

区の保健師が3名待機していたが、人工呼吸器の扱いが不慣れだった

ため、家族が対応した。

・台風19号の際、小平市では避難勧告が出なかったが、夜間職員を配置

し、出張所と公民館を開放した。被害の深刻さが予想されていたため、

保健所の職員が、事前に人工呼吸器を利用している20名の方に電話

をして、バッテリー等の準備について話をした。台風が去った後にも

安否確認を行った。引き続き対策を講じていく。

(2) J委員より報告があった

台風19号の前後で人工呼吸器を利用している人工呼吸器を利用の

かぞく れんらく たいふう じゅんび かくにん
家族に連絡し、台風の準備など確認をおこなった。その結果、「主治医に
そうだん にゆういん
相談し入院した」、「交通機関が止まったことでヘルパーが訪問できるか
しんぱい きあつ ていか たん りょう
心配した」、「気圧が低下したことで痰の量がふえた」などの意見をいた
だいた。

(3) かけりちよう こだいらしぼうさい せつめい
係長より小平市防災マップについて説明があった。

7 れいわ ねんど だい き ちいきじりつしえんきょうぎかいについて あん どう
令和2年度（第5期）地域自立支援協議会日程（案）等について

かけりちよう しりょう もと せつめい
係長より、資料1に基づき説明があった。

8 どうじしゃ かん ほうこく
当事者ワーキングについてのまとめに関する報告

いいん しりょう もと せつめい
I委員より、資料に基づき説明があった。

9 かんじかい ぶかい どうかいさいほうこく
幹事会、部会、ワーキング等開催報告

(1) かんじかいだい かい
幹事会第3回

いいん しりょう もと せつめい
I委員より、資料2に基づき説明があった。

どうしょよてい こんなん じれい けんとう じかん つごうじょう
当初予定されていた困難事例の検討は時間の都合上できなかった。

がつ かんじかい あらた おこな よてい
1月の幹事会で改めて行う予定。

(2) そうだんしえん だい かい
相談支援ワーキング第3回

いいん せつめい
K委員より説明があった。

相談支援センターくれよん・あいの樹・当事者の親から情報提供を

頂き、医療的ケア児・者に対する事例検討会を行った。

相談支援専門員からは、医療的ケア児に関わるうえで、専門性の向上を

目指したいという話があった。

(3) 地域部会

副会長より説明があった。

第1回目は、通所施設・入所施設のサービス管理責任者の情報交換会を

行った。第2回目は、放課後等デイサービスのサービス管理責任者の

情報交換会を行った。第3回目は、30年度・31年度の自立支援協議会

の取り組むべき課題について話し合いをしたいと思っている。

(4) その他

F委員より説明があった。

小障連の代表・世話人に、現状についてヒアリングを行った。経過等

は、10月25日(金)の幹事会で報告した。

10 小平市白梅学園大学連携療育事業

係長より、資料に基づき説明があった。

「発達の子になる子どもや障がいのある子どもの保護者の交流会みんな

ではなそう^{かい}会「おやこでたのしむおもちゃとあそびのひろば」

NHK Eテレ（^{きょういく}教育テレビ）すくすく^{こそだ}子育て ^こ子どもの^{はつたつ}発達^きが気にな
つたらで^{しょうかい}紹介された。

1 1 その他^た

(1) 報告事項^{ほうこくじこう}

^な無し

(2) 情報提供^{じょうほうていきょう}

^{かかりちよう}係長より、^{せつめい}説明があった。

・NPO法人^{ほうじん}ふるすあるはを^{まね}招き、^{せいしんしょう}精神障がい^{だいざい}を題材とした^{えほんさつか}絵本作家の

^{さくひんでん}作品展と^{かいさい}トークショーを開催する。12月17日（^{がつ}火）^{にち}支援者、^か12月

^{にち}18日（^{すい}水）～^{にち}22日（^{にち}日）は^{いっばんしみん}一般市民を^{たいしょう}対象に行われる。

・1月25日（^{がつ}土）に、^{にち}東久留米の^どマロニエホールで、^{ひがしくるめ}高次脳機能障^{こうじのうきのうしょう}が

^{とつか}いに^{きょうぎかい}特化した^{おこな}協議会が行われる。